

# マリンスキー・バレエ News Vol.2

最新情報をお届けいたします！ [HP] [www.japanarts.co.jp/mariinsky2018/](http://www.japanarts.co.jp/mariinsky2018/)  
[twitter] [@ja\\_ballet](https://twitter.com/ja_ballet) [マリンスキー・バレエ2018](#) [検索](#)

主催：朝日新聞社 / ジャパン・アーツ 後援：ロシア連邦大使館

ヴィクトリア・テリョーシキナ & キミン・キム

白夜祭公演  
レポート

## みどころ満載、マリンスキー・バレエが魅せる

### 『ドン・キホーテ』

小田島久恵（音楽・舞踊ライター）

6月21日、 Санктペテルブルグのマリンスキー劇場で行われた『ドン・キホーテ』は、ワールドカップ期間中ということもあり国際色豊かな観客が集まり、例年のこの白夜祭のシーズンよりたくさんの英語が飛び交っていた。この日の主演はマリンスキー・バレエの二大スターヴィクトリア・テリョーシキナとキミン・キム。この前日に観たエレナ・エフセーエワとウラジーミル・シクリャロフのカップルも大盛況だったが、キトリを「大好きな役」と語るテリョーシキナが舞台に出ると、他のプリマの追従を許さない大きな華が咲く。マリンスキー歌劇場管弦楽団も、前日に比べてテンポが速い。テリョーシキナの動きに合わせてスピードを上げているのだ。ステップや回転にもはじけるような勢いがあり、どんなに激しい動きの後にも、びたっと美しいポーズをとる。そしてキミン・キムはすっかりマリンスキーの大御所スターの風格だ。180センチを超える理想的な体形で、バジルの典型的なジャンプ（ものすごく高いので観客から驚きの声がかかる）をゴージャスに披露する。背中への柔軟性も素晴らしく、何よりパートナーを引き立てるエレガントなエスコートと、安定感のあるリフトが見事だった。フラメンコ風に腕を上げたキトリを高くリフトするシーンは、実際には難しいのか、リハーサルでは何度も繰り返し練習していたが、本番では何の問題もなく成功させていた。

ドン・キホーテ役はマリンスキー・バレエの名キャラクター、ソスラン・クラエフが演じた。前回の来日ではジークフリートの家庭教師やジュリエットの父親を演じていたベテランだが、彼のドン・キホーテも絶品だった。テクニカルなシーンはないが、ほとんどの場面で舞台にいて、キトリにダンスを申し込んで一緒に踊ったり、ドゥルネシア姫の世界に誘われて美しいバレリーナに囲まれうっとりし

たりする。ずっと見ていると、詩人のような表情で、大きな手がたくさんの感情を物語る。あまり注目されないドン・キホーテ役だが、この老いた騎士役には心を掻き巻かれるような悲哀がある。コミカルなだけではない、騎士としての品位まで演じ切るのにはさすがマリンスキーのダンサーだ。もう一人、特別な光彩を放っていたのが、エスパーダ役のロマン・ベリャコフ。体格がよくクラシカルな雰囲気的美男子なのだが、舞台を埋め尽くすような圧倒的なカリスマ性を放ち、セクシーな闘士の踊り（技術的にもかなり高度）で観客をヒートアップさせた。彼は別の日にショスタコーヴィチの音楽に振り付けられた『レニングラード・シンフォニー』でもメインの役どころを踊っていて、劇場からかなり期待されている様子。見ていて嬉しくなるダンサーだ。

第3章テリョーシキナとキミンのハイレベルなテクニックの競演は別格で、『ドン・キホーテ』は、すべてが見どころなのだ改めて感動する。ソリストとして超一流の彼らが、2人で踊るときの華やかさは花火のようだ。お互いを信頼しているので、危険な後ろ向きダイブも成功する。観客の熱狂は最高潮に達し、ダンサーは何度も何度もカーテンコールに応えていた。「世界の至宝」マリンスキーの凄みを芯まで味わった奇跡の上演だった。



ヴィクトリア・テリョーシキナに  
聞きました

Привет!



Q. 今回の日本公演もテリョーシキナさんの魅力全開です。それぞれ素敵なパートナーと踊ってくださいませね。ヴィクトリア・テリョーシキナ(以下、V.T.) はい！私はパートナーたちを愛しています。公演をともに成功させようと思えば、そこに向かって一緒に歩み、準備して、何か新しいニュアンスを創りだすこともできますから。

Q. あなたは、踊りはもちろんですが、人間的にも包容力のある魅力的な方だと、多くのダンサーたちから聞きました。

V.T. 自分がどんな人間か、ということについてお話しするのは難しいけれど……。人々をあるがままに受け入れるということ…それは私の人生の規範です。そして、相手からは何も要求しない…これは私の人生哲学です。

この二つは、私がこれまでの経験の中で育んだ“成果”“獲得物”のようなものです。

Q. 今年は、マリウス・プティパ生誕200周年ですが、なぜ彼の振付は今も我々の心を捉えて感動させるのでしょうか。

V.T. なぜ彼の振付がそんなにも素晴らしいのか誰もわかっていませんが、きっと音楽との組み合わせが天才的なのでしょう。

クラシック・バレエの基礎はどの作品でも同じ、動作そのものの基本は変わらないでしょう。そこに、マリンスキー・バレエの場合は「腕」の魅力が加わります。

Санктペテルブルグの「腕」、マリンスキー・バレエの「腕」は、他のどこにもない特徴です。これこそがマリンスキー劇場のスタイルの表われで、プティパ作品の素晴らしさを増しているのです。

## エカテリーナ・コンダウーロフ



フォーサイス、マクレガー、ブヴェニチェクなど現代振付家の作品をキレ味抜群に踊ったかと思えば、古典作品を優雅にたっぷりと踊り、マリンスキー劇場の多くのレパートリーを踊りこなすコンダウーロフ。  
『マリンスキーのすべて』で披露するジヴォイ作品はロンドンでも話題になったもの。第二夜に踊る『パキータ』のグラン・パでは大輪の花を咲かせ幸せの舞台を創りあげてくれるだろう。

普段の穏やかな口調、柔らかな笑顔からは想像できないが、舞台にかける執念はマリンスキー随一だと感じる人が多いバレリーナ。前回(2015年)はずっと見守り続けてくれたお母さんの死、自身の怪我に苦しんでいたが「私は舞台のために生きてきた」と涙ながらに語り、苦難を乗り越えてきた。気分転換は、友人の飼っている犬と遊ぶこと。保護された犬の世話をしたいとずっと願っている。

## フィリップ・スチョーピン



サンクトペテルブルグ生まれ、バレエ家の中で育ち、小さいころは劇場が遊び場だったというスチョーピン。  
『マリンスキーのすべて』では、“ソロ”でユーモアと人間的な魅力を、“ショビニアーナ”では王道を行くワガノフ・メソッドの美を堪能できる。  
『ドン・キホーテ』では、さてさてどんなステージを創り出してくれるか! 今から楽しみだ。

「一番身近で信頼できる存在。相談に乗ってもらうこともあるし、一番厳しい批評家でもある。」と語るスチョーピンのお父さんは、ワガノフ・バレエ学校で演技指導の名教師アレクサンドル・スチョーピン先生。趣味は魚釣り。自然の中で過ごすことで、自分自身が充電されるのを感じる。

## ユーリ・スメカロフ



ワガノフ・バレエ学校を卒業した後、エイフマン・バレエを経て、2009年マリンスキー・バレエに移籍。  
長身を生かしたダイナミックな踊り、舞台を制圧してしまうほどの演技力が光る、一度見たら目が離せなくなるダンサー。

とにかく多彩な才能がほとばしる人で、フィギュアスケートの振付、衣装のデザインなども行う異才。情熱家。今回は、ダンサーとして、そして振付家としての来日。『マリンスキーのすべて』で自作の“別れ”を踊ることは劇場から知らされておらず、インタビュー中に告げられ、気合が200%になった。カッコよすぎてニヒルな雰囲気ではあるが、「来日を持っていて人がたくさんいます」と伝えた時に笑顔がはじけた。

# Pick up! 注目のダンサー達

## マリンスキー・バレエ

2018.11.28[水]~12.9[日] 東京文化会館

[アクセス: JR上野駅 公園口前] Tokyo Bunka Kaikan

twitterで最新情報をお届けいたします!

@ja\_ballet



演目	日程	予定キャスト
<b>「ドン・キホーテ」</b> (全3幕) 上演時間:約3時間(休憩2回含む) 作曲: ミンクス 振付: ゴールスキー/プティパ/アニシモフ/ロプホーフ ※セルバンテスの小説に基づく台本	11月28日(水) 18:30 November 28 (Wed.) 18:30	ヴィクトリア・テリョーシキナ & キミン・キム
	11月29日(木) 14:00 November 29 (Thu.) 14:00	アナスタシア・マトヴィエンコ & ティムール・アスケロフ
	12月5日(水) 18:30 December 5 (Wed.) 18:30	レナータ・シャキロフ & フィリップ・スチョーピン
<b>「マリンスキーのすべて」</b> (全3部) 上演時間:約3時間(休憩2回含む) 第1部「ショビニアーナ」 作曲: ショパン 振付: フォーキン 改訂振付: ワガノフ 第2部「マリンスキーの現在」 第3部「パキータ」よりグラン・パ 作曲: ミンクス 原振付: プティパ 改訂振付・構成: スメカロフ/ブルラーカ	12月2日(日) 18:00 December 2 (Sun.) 18:00 <b>大好評!!</b>	第1部「ショビニアーナ」 アリーナ・ソーモフ & ザンダー・パリッシュ 第2部「マリンスキーの現在」 「眠れる森の美女」よりローズ・アダージョ 振付: プティパ/セルゲエフ 音楽: チャイコフスキー アナスタシア・マトヴィエンコ、ロマン・ベリャコフ、 コンスタンチン・ズヴェレフ 他 「ソロ」 振付: ハンス・ファン・マーネン 音楽: J.S.バッハ フィリップ・スチョーピン、ヤロスラフ・バイボルディン、 マキシム・ゼニン 「海賊」第2幕のバド・ドゥ 振付: プティパ 音楽: アダン 永久メイ & ヴィクター・カイシュタ 「バレエ101」 振付: ゴーティエ 音楽: イェンス・ペーター・アーベレ ウラジーミル・シクリャロフ 「フラッシュバック」よりバド・ドゥ 振付: イリヤ・ジヴォイ 音楽: アルヴォ・ペルト エカテリーナ・コンダウーロフ & ロマン・ベリャコフ 「タリスマン」 振付: プティパ 音楽: ドリゴ レナータ・シャキロフ & キミン・キム 第3部「パキータ」よりグラン・パ ヴィクトリア・テリョーシキナ & ティムール・アスケロフ
	12月3日(月) 18:30 December 3 (Mon.) 18:30	第1部「ショビニアーナ」 アナスタシア・マトヴィエンコ & フィリップ・スチョーピン 第2部「マリンスキーの現在」 「眠れる森の美女」よりローズ・アダージョ 振付: プティパ/セルゲエフ 音楽: チャイコフスキー マリア・ホーレフ、ロマン・ベリャコフ、 コンスタンチン・ズヴェレフ 他 「ソロ」 振付: ハンス・ファン・マーネン 音楽: J.S.バッハ フィリップ・スチョーピン、ヤロスラフ・バイボルディン、 マキシム・ゼニン 「海賊」第2幕のバド・ドゥ 振付: プティパ 音楽: アダン 永久メイ & ヴィクター・カイシュタ 「バレエ101」 振付: ゴーティエ 音楽: イェンス・ペーター・アーベレ ザンダー・パリッシュ 「別れ」 振付: スメカロフ 音楽: パウエル エカテリーナ・コンダウーロフ & ユーリ・スメカロフ 「チャイコフスキー・バド・ドゥ」 振付: バランシン 音楽: チャイコフスキー ナデージダ・バトーエフ & ウラジーミル・シクリャロフ 第3部「パキータ」よりグラン・パ エカテリーナ・コンダウーロフ & アンドレイ・エルマコフ
	12月6日(木) 18:30 December 6 (Thu.) 18:30	ヴィクトリア・テリョーシキナ & ウラジーミル・シクリャロフ
<b>「白鳥の湖」</b> (全3幕) 上演時間:約3時間15分(休憩2回含む) 作曲: チャイコフスキー 振付: プティパ/イワノフ 改訂振付: セルゲエフ	12月7日(金) 18:30 December 7 (Fri.) 18:30	エカテリーナ・コンダウーロフ & ティムール・アスケロフ
	12月8日(土) 12:00 December 8 (Sat.) 12:00	ナデージダ・バトーエフ & キミン・キム
	12月8日(土) 18:00 December 8 (Sat.) 18:00	アナスタシア・マトヴィエンコ & ザンダー・パリッシュ <b>S売切</b>
	12月9日(日) 14:00 December 9 (Sun.) 14:00	ヴィクトリア・テリョーシキナ & ウラジーミル・シクリャロフ <b>S僅少</b>

来日予定のオクサーナ・スコロリクは、ダンサーの都合により日本公演に参加せず、アリーナ・ソーモフが来日すると連絡が劇場よりありました。つきましては上記7月23日現在の来日予定メンバーをご参照願います。出演者は、病気、怪我、その他の止むを得ない事情で変更になる場合がございます。最終的な出演者は当日発表とさせていただきます。一旦お求めいただきましたチケットは、公演中止の場合を除きキャンセル・公演日の振替等をお受けしておりませんので、あらかじめご了承下さい。ご承諾いただけない場合は、当日券のご利用をお願いいたします。(前売りで売り切れとなった場合は当日券の販売はございません)

チケットのお申込み **ジャパン・アーツぴあ** 03-5774-3040 [www.japanarts.co.jp](http://www.japanarts.co.jp)  
 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 チケットぴあ [t.pia.jp/](http://t.pia.jp/) 0570-02-9999 (Pコード:484-415)  
 イープラス [eplus.jp](http://eplus.jp) ローソンチケット 0570-000-407 (Lコード:33228)

《チケット料金(税込)》

「ドン・キホーテ」「白鳥の湖」 ※11/29(木)公演を除く  
**S ¥24,000 A ¥20,000 B ¥17,000 C ¥13,000 D ¥9,000**  
 (夢倶楽部会員料金)  
**S ¥23,000 A ¥19,000 B ¥16,000 C ¥12,000 D ¥8,100**

「ドン・キホーテ」 ※11/29(木)公演 / 「マリンスキーのすべて」  
**S ¥22,000 A ¥18,000 B ¥15,000 C ¥11,000 D ¥7,000**  
 (夢倶楽部会員料金)  
**S ¥21,000 A ¥17,000 B ¥14,000 C ¥10,000 D ¥6,300**

お席によっては舞台全体が見えない場合がございます。予めご了承の上、お買い求めください。

特別割引チケット | ジャパン・アーツぴあコールセンター及びWEBジャパン・アーツぴあで受付

**3演目セット券 (S, A, B席) 3演目で¥3,000割引**  
 ※3演目セット券はジャパン・アーツぴあコールセンターのみでの取り扱いとなります。

**2演目セット券 (S, A, B席) 2演目で¥2,000割引**  
 ※2演目セット券は「ドン・キホーテ」と「白鳥の湖」の2演目が対象となります。  
 ※2演目セット券はジャパン・アーツぴあコールセンターのみでの取り扱いとなります。

**学生券 各ランクの半額**  
 ※社会人学生を除く公演当日に25歳までの学生が対象です。  
 ※夢倶楽部会員の学生の方も一般価格の半額です。残券がある場合に限り、2018年9月1日(土)10:00よりジャパン・アーツぴあにて受付をいたします。当日は入口で学生証を拝見いたします。学生証をご提示いただけない場合は、一般料金との差額を頂戴いたします。学生証は、必ずお持ち下さい。

**その他の割引チケット**  
 ※シニア・チケット:65歳以上の方はS席とA席を会員料金でお求めいただけます。  
 ※車椅子スペースを車椅子でご利用の場合、割引がございません。(本人と付き添いの方1名まで)事前にジャパン・アーツぴあコールセンターまでお申込み下さい。

マリンスキー・バレエ2018 日本公演 [他日の公演]

兵庫県立芸術文化センター | 11月30日(金)「白鳥の湖」/ 12月1日(土)「ドン・キホーテ」  
 KOBELCO 大ホール | お問い合わせ: キョードーインフォメーション 0570-200-888

次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ

①お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。②いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意下さい。③上演中は入場できません。④4歳未満の乳幼児の同伴はご遠慮ください。また、ご入場には1人1枚チケットが必要です。⑤全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。⑥場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑦ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑧他のお客様の迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

代官山 蔦屋書店イベントのお知らせ *Event*

ロシアの美しき都サンクトペテルブルグの華 ~マリンスキー・バレエを語る  
 8月3日(水) 19:00  
 代官山 蔦屋書店 1号館2階イベントスペース ゲスト: 島山愛理  
 TEL 03-3770-2525 (予約受付中)  
 マリンスキー・バレエ ポスター展同時開催中! 期間: 8月4日~8月17日  
 蔦屋書店 TSUTAYA BOOKS

*Movie*  
 映画 『マチルダ 禁断の恋』

マリンスキー劇場でも撮影が行われました!

ロマノフ王朝最後の皇帝ニコライ2世と、マリンスキー・バレエ団で伝説のプリマとして謳われた、マチルダ・クシェシンスカヤとの許されぬ恋物語。美しく儂い時代に生まれた実話が現代の実力俳優たちによって豪華絢爛に描かれる一大ロマンス。

2018年12月8日ヒューマンラストシネマ有楽町、新宿武蔵野館、YEBISU GARDEN CINEMA他 全国公開  
 配給: シンカ <http://www.synca.jp/> ©2017 Rock Films